

妙～に面白い絵本 Best3

1. きれいな はこ

著者: せなけいこ

出版社名: 福音館書店

ねこちゃんとわんちゃんがきれいな箱を見つけた。しかし二人は箱の所有権を巡って争いを起こしてしまう。ねこちゃんの爪が炸裂、わんちゃんも負けじと噛みつく。それを待っていたかのように箱から出てきたのはお化け。お化けは二人に制裁を加える。二人は「これじゃみんなとあそべない」とおばけに泣きつく。しかしお化けは何を勘違いしたか二人を余計ひどい姿に変えてしまい……。友達とは仲良く、という説教ものを超越した絵本。もう、なんか、おばけの不条理なまでの仕打ちと二人の情けなさそうな表情がたまりません。

同著者の「ねないこ だれだ」もおすすめ。

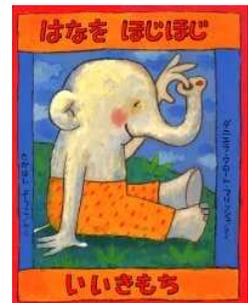


2. はなをほじほじ いいきもち

著者/訳者名: ダニエラ・クロート-フリッシュ/たかはしようこ

出版社名: 偕成社

タイトルどおりの内容。お母さんたちから恐ろしいことになるかと脅かされていて、鼻をほじることができない子どもたち。でもあることがきっかけで「なんだ、鼻をほじほじしてもいいんだ」と知り安堵する。教訓臭さがなにも感じられないところが素直でいい感じ。



3. てぶくろ

作/絵/訳: (ウクライナ民話)/エウゲーニー・M・ラチョフ/内田莉莎子

出版社名: 福音館書店

おじいさんが森に落とした手袋にまずネズミが入り込んだ。それからというも森に住む動物が続々と入り込んでいってしまう。手袋も高床式になり土間ができ、窓まで開けてしまう。もう手袋じゃない。弱い動物とどう猛な動物が押しくらまんじゅうしながら生活の場になっている……。普通に考えて無理な話。しかも何が言いたいのかよく分からない。ロシア民話というのは何か政治的な暗喩が込められているのかもしれない。

